

2010年3月30日

株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント

企業向け省エネ対策支援「低炭素経営診断サービス」の開始 ～ ハード・ソフト両面から低炭素経営実現に向けたサポートを実施 ～

株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント(以下「損保ジャパン・リスク」、社長:瀬尾 隆史)は、ハード・ソフトの両面から企業の事業活動を診断し、CO2排出量削減などの「低炭素経営」の実現を支援する「低炭素経営診断サービス」の提供を4月1日から開始します。

政府は「地球温暖化対策基本法」の制定や企業の排出削減義務を伴う「キャップ・アンド・トレード」方式の排出量取引の早期導入など「1990年比で2020年までに温室効果ガス25%削減」に向けた対策の検討を進めています。

また、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」や「東京都環境確保条例」が改正され、2010年4月から施行されるなど、温室効果ガス排出の規制リスクが高まっている中で、企業にはリスクマネジメントの観点から総合的に対応していくことが求められています。

一方、省エネルギー推進によるコスト削減は、企業の体質強化だけでなく、企業を取り巻くステークホルダーからの信頼向上を通じて、企業価値向上に繋がると考えられています。

損保ジャパン・リスクは、このような状況を踏まえ、これまでに蓄積してきた環境マネジメントシステム構築支援などのソフト面のノウハウと施設・設備の省エネルギー診断などのハード面のノウハウを生かし、企業の抱える課題とその対策案を整理し、企業の「低炭素経営」実現に向けた取り組みを支援します。

1. サービスの概要

(1) サービスの構成

本サービスは、次のような手順で提供します。

① 経営診断

診断シートをもとにヒアリングを行い、経営戦略やマネジメントなどのソフト面と、施設・設備などのハード面の両面から診断を行います。

② 課題の抽出

診断結果をもとに、低炭素経営実現に向けた課題を整理します。

③ 対策案の整理

課題に対する対策案を整理し、レポートとして報告いたします。

④ 対策の実施支援

低炭素経営に関する経営戦略策定やマネジメント体制の構築、省エネルギー設備導入などの対策実施を支援します。

※ 省エネルギー設備の導入などは、ESCO(Energy Service Company)事業者と共同で実施します。

(2) 本サービスの期間・料金

① 期間 : 3か月程度

② 料金 : 100～200万円程度

※ 期間・料金は、企業の規模やサービス内容に応じて異なります。また設備導入にかかる費用は、上記料金には含まれていません。

経営診断

診断シートをもとにヒアリングを行い、経営戦略やマネジメント等のソフト面と、施設・設備等のハード面の両面から、診断を行います。

課題の抽出

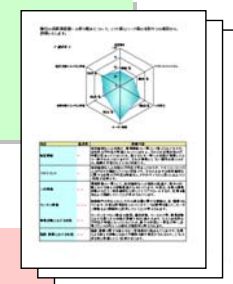
診断結果をもとに、低炭素経営実現に向けた課題を整理します。

対策案の整理

課題に対する対策案を整理し、レポートとして報告いたします。

対策の実施支援

低炭素経営に関する経営戦略策定や、マネジメント体制の構築、省エネルギー設備導入等の、対策を実施支援します。



2. 今後の展開

損保ジャパン・リスクは、CASBEE認証業務(2009年7月開始)、東京都の「温室効果ガス排出量の総量削減義務と排出量取引制度」における検証機関の業務(2010年3月開始)、ISO14001認証支援コンサルティングなどのサービスを通じて、企業の省エネ対策を支援し、地球温暖化問題の解決に貢献していきます。

以上